

(様式3)

外国人児童生徒等教育アドバイザー派遣結果報告書

都道府県名	福井県	市町村名	越前市	大学名	
派遣日時	令和7年12月24日(水曜日) :14:00~16:30 14:00~14:10 教育長挨拶・説明 14:10~14:20 行政説明(市担当より) 14:20~15:10 講義1「外国人児童生徒等教育の概要について」 15:25~16:15 講義2「具体的な指導・支援体制について」 16:15~16:25 質疑応答 16:25~16:30 諸連絡・解散				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 派遣 / <input type="checkbox"/> 遠隔 ※いずれかに○をつけてください。				
派遣場所	福井県越前市役所 生涯学習センターeホール				
アドバイザー氏名	築樋 博子 氏				
相談者	・越前市教育委員会学校教育課担当 ・外国にルーツのある子供への指導に関わる教職員				
相談内容等	【言語に関すること】 ・生活言語能力と学習言語能力 ・言語能力の測定法 【授業時の支援・対応に関すること】 ・現場での実践(観察、交流、支援、授業の実施) ・教科指導と学習活動 ・日本語学習と他教科の内容・活動との関連付け 【その他】 ・「特別の教育課程」としての日本語指導 ・教員、支援員の連携				
派遣者からの指導助言内容	【講義内容】 「外国人児童生徒等教育の課題と支援～子どもたちの明るい未来のために～」 ○講義1「外国人児童生徒等教育の概要について」 ・外国人児童生徒教育に関する基本的な知識について 日本語教育における基礎用語や「特別の教育課程」「個別の指導計画」など、日本語指導の考え方についての説明 ・受け入れ初期の留意点について 来日した生徒がどのような過程で初期指導を受けていくのか、生活言語だけでは在籍学級の学習への参加が困難である等の説明 日本語の力をどのように判断するか、「DLA はじめの一步」の活用例についての演習 ・日本語指導プログラムの流れについて				

(様式3)

	<p>サバイバル日本語、日本語基礎、技能別日本語、教科統合学習(JSL カリキュラム)等継続的な支援の流れを具体的な指導計画を基に説明</p> <p>○講義2「具体的な指導・支援体制について」</p> <ul style="list-style-type: none">・校内連携と体制整備について 日本語指導担当者と担任・教科担当者の情報共有、母語支援者との協働の留意点についての助言・学年ごとの具体的な指導方法について 小学校5年生、中学校2年生を例に発達段階や滞日歴、日本語能力の違う児童生徒の指導プログラムや指導方法について、具体的な指導資料との関連も踏まえた説明
相談後の方針の変化、今後の取組方針等	<ul style="list-style-type: none">・「個別の指導計画」の重要性を再認識し、指導と評価を一体化させ、より効果的につなげるための友好的なツールとしての活用を促進する。・外国人児童生徒の在籍校の外国人児童生徒教育に関わる担当教員や日本語指導担当者、担任との連携をさらに強化充実させていく。・国や他の自治体が活用している教材や指導計画の工夫等について、積極的に情報交換する機会を設ける。・JSL カリキュラムの考え方を活かし、外国人児童生徒が楽しみながら学ぶための授業づくりを推進する。

1枚にまとめる必要はありませんので詳細に記載願います。

なお、本報告書の内容は、文部科学省ホームページで公開いたします。